



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成 30 年 1 月 19 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ トケ化エイカツウホウジン オカヤマシトモセンター
 団体名 特定非営利活動法人 岡山市子どもセンター
 所在地 [Redacted]
 連絡先 [Redacted]
 フリガナ タケホウジン ミキ ミコ
 代表者 役職・氏名 代表理事 美咲美佐子

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	御南和やかサロン
事業実施小学校区・地区	御南小学校区
事業実施回数	新規 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 4 回目 / 【平成 27 年度から】
課題	<p>※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。</p> <p>岡山市内でも有数の乳幼児を育てる若い世代かつ、転勤族の多い学区であり、核家族化による孤立化の解消が課題です。 また独り暮らしや高齢者のみの世帯も多く、高齢者の交流の場も必要です。 この課題解決のために平成 27 年 6 月より御南和やかサロン（火曜日と水曜日の 10 時から 13 時まで開催）を開始し、初年度は 1,058 名（15.3 人/日）、2 年目は 1,736 名（平均 25.9 人/日）3 年目は 2,579 名（平均 35.8 人/日）と参加者が年々増え、乳幼児を持つ保護者同士がつながり、情報交換したり、親子で友だちになり交流できたりする場としてサロン継続への期待の大きさを感じています。</p> <p>また、岡山西支援学校からも野菜販売、職場体験実習の受け入れを行っており、地域の方をはじめ、若いお母さん達にも喜ばれ交流の絆もできています。 これらのことにより平成 30 年度も継続が必要です。実施に向けては、過去 3 年間の運営を振り返り、</p> <p>①参加者の子ども、大人に常時関わるスタッフの関わり方（見守り方、安心安全への対処、発達障害などに対する専門的知識）の研修を充実させていきます。 ②幼稚園跡地を使用している利点を生かし、子どもの成長発達のためにも園庭での外遊びができるよう環境を充実させていきます。</p> <p>以上からサロンに来ている若い子育て世代と地域在住の高齢者の三世代交流の場として、スタッフも交えて、出会い、交流する場となれば、地域住民の生活の質の向上が図れ、どの世代もより生活しやすいコミュニティの形成に繋がっていくと考えます。</p>

事業の目的	<p>※事業を実施する「目的」を記載してください。</p> <p>若い子育て世代の親が子どもとともに集い交流し、子育ての情報交換や悩みを相談しあえる場をつくる。</p> <p>また、地域在住の高齢者と若い世代の親とが出会い、関わりあえる場を提供し、地域の多様な世代の人が互いに支え合う地域づくりをしていく。</p>
事業の内容	<p>※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。</p> <p>◆多世代交流のできるサロンの開設（週2回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節を感じ文化に触れることのできる体験の場の提供 ・「外遊び」のできる環境づくりと機会の提供 ・親子が異年齢で交流できる場の提供 ・子育てや地域づくりに関する学習会の実施 <p>◆「子ども」「地域づくり」「遊び」に関する情報発信</p>
期待される成果・目標	<p>※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。</p> <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の親にとっては、情報交換し合える仲間作りができ、核家族化による孤立した子育て生活を打破することができる。 ・様々な年齢の経験豊かな地域住民と関わったり、悩みを相談できたりすることで、子育てや生活が豊かになり、子育てが楽しいと思えるようになる。 ・子どもにとっては、様々な人と関わり、あたたかく見守られる中で成長できる環境が整う。 ・外遊びを楽しむ親子や子どもが増え、居場所として充実していく。 ・子どもを中心にすえ、地域住民が関係を築きながら活動を行うことで、活動が活発になり地域住民主体の地域づくりに発展する。 <p>《目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代の人が交流し、つながれるような場を作る。 ・サロン利用者が自由に外で遊べるよう、外遊びの環境を整える。 ・参加者（子育て世代）の声掛けによって、毎回利用者が増えていることを大切にしてい、参加者が当事者となり運営に関われるようにしていく。
企画などの工夫	<p>※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節や伝統文化に触れる行事を行い、高齢者と子育て世代が参加することにより、日常生活では触れることのできない体験ができるようにする。 ・室内だけでなく、園庭を使ってのびのびと過ごせる環境をつくり、五感を刺激できるように「外遊び」を取り入れる。 ・引き続き多世代交流が進展していくように2か月に一回『みんなでランチを楽しもう』をテーマに作ったり、食べたりする交流の場としていく。
協働する団体等	<p>※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。</p> <p>御南学区連合町内会 （御南学区ボランティア団体 ベターライフ御南）</p>

事業の 情報公開	<p>※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「御南和やかサロンだより」を毎月発行し、御南小学校区内の町内会へ回覧する。 ・近隣公民館、保育園（分園）と連携を取りながら、広報、情報提供を行う。 ・当団体 HP、FB にて、活動の案内や活動の様子を発信する。 ・おかやまプレーパークに「御南和やかサロンだより」を掲示して、広報する。
学区 地区 への 広がり	<p>※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧白石幼稚園の園庭の場を活かした外遊びができるよう、おかやまプレーパークとの連携や学習の機会を設けて豊かな子どもの育ちを支援していく。 ・平成 27～29 年度「御南和やかサロン」を開催したことにより、交流の場が増え、次年度も乳幼児を持つ親や地域住民から継続開催を求める声が多い。 ・長期休暇中などには小学生も利用できるようにベターライフ御南主催の『親子土曜塾』と連携していく。 ・岡山西支援学校との交流を活発にしていく。
前年度 からの 見直し 拡充点	<p>※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「若い子育て世代の親が子どもとともに集い交流し、子育ての情報交換や悩みを相談しあえる場をつくる」については好評をいただいております。参加者のニーズも大きいので、引き続き第3火曜日を『ゆるゆるの日（おしゃべり会）』として、のんびり過ごせる時間を拡大する。 ・「地域在住の高齢者と若い世代の親とが出会い、関わりあえる場を提供し、地域の多様な世代の人が互いに支え合う地域づくりにつないでいく」については、地域の方の参加が少ないので、引き続き2か月に一度の「みんなでランチをしよう」を実施し、交流できるきっかけづくりにする。 ・審査会で助言頂いた「今後は、参加者たちがサロンに“参加する”から“一緒に行く”といった生きがいがいづくりに力を入れて頂きたいです」の対応については、私たちの目標も「参加者（子育て世代）の声掛けによって、毎回利用者が増えていることを大切にして、参加者が当事者となり運営に関われるようにしていく。」を目標としていますので、乳幼児を連れて参加しながら、スタッフとして運営に参加できるようにしていく。
次年度 以降の 予定	<p>※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。</p> <p>①次年度以後の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御南和やかサロンが乳幼児連れの若い世代や地域住民の居場所となるよう継続して開催する。 ・サロン参加者や地域住民がサロンの運営に関われるような仕組みを考える。 ・将来的に持続可能な事業にしていくためにも、スタッフ人件費が確保できるように展開していきたい。 <p>②資金の確保について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>次年度も区づくり推進事業を申請する予定</p> <p><input type="checkbox"/>（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。</p> <p>資金確保の具体的な方策：</p>
その他 PR したい 点	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児連れの若い世代や地域住民の思いが、サロン運営やスタッフに継続的に反映されるように有意義な活動を展開していきます。 ・当サロンへの参加をきっかけに、ベターライフ御南主催の「親子土曜塾」に参加される親子が増えており、親子土曜塾の運営に参加されている高齢者の方とのふれあいができつつあるので、地域全体で子育て世代と地域在住の高齢者の出会い、交流の場が温かい地域づくりのモデルケースとなるよう取り組んでいきます。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合に月だけで結構です。)

月日	日常の活動	季節行事	多世代交流	スタッフ会議	実行委員会	その他
4月	毎週火曜日、水曜日10～13時 室内(マット遊び、ふれあい遊び、絵本の読み聞かせと貸し出し、わらべ歌など) 屋外(砂場、ロープ、ボール、マットなど、押し車など)	・お花見 ・お雛の片付けと5月人形を飾ろう	・大切な人に絵手紙を出そう (毎月第1火曜日) ・お花見	スタッフ会議 (毎月第3火曜日)		「ゆっくり日(おしゃべり会)」 (第3火曜日10時～15時) 「みんなでランチをしよう」 4月お花見 6月誕生祭 8月そうめん流し 10月ハロウィン 12月御南和やかバザー 2月焼いもをしよう
5月		・端午の節句	・絵手紙			
6月		・誕生祭	・絵手紙 ・誕生祭		実行委員会	「御南和やかサロンだよりの発行(毎月)
7月	・水あそび	・七夕	・絵手紙			子育て講演会 (年2～3回)
8月	・水あそび	・そうめん流し	・そうめん流し			スタッフ研修 (年5回)
9月		・子どものための防災	・絵手紙			岡山西支援学校による野菜販売(年5回程度)
10月		・ミニ運動会 ・ハロウィン	・絵手紙 ・ハロウィン			
11月		・落ち葉であそぼ	・絵手紙			
12月		・和やかバザー ・クリスマスツリーやお正月飾り作り ・クリスマス会	・絵手紙 ・御南和やかバザー			
1月		・お正月あそび(凧揚げ、かるた、お手玉、書初め)				
2月		・焼いもを作って食べよう ・お雛を飾ろう	・絵手紙 ・焼いもをしよう			
3月	▼		・絵手紙	▼	監査報告会 実行委員会	

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	120,000	101,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金			
参加者負担金	33,800	31,000	
協賛金	10,000	10,000	ベターライフ御南
寄付、他収入	80,126	60,000	寄付、バザーなど
計	243,926	202,000	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
報償費	56,000	56,000	講師謝金@5600×10人
消耗品費	124,247	100,000	玩具、紙、インク
通信運搬費	820	1,000	切手、はがき、レターパック
燃料費	7,076	10,000	灯油
食糧費	3,648	5,000	会議用お茶
印刷製本費	46,915	10,000	資料のコピー代
原材料費	5,220	10,000	米、野菜などの食材
委託費	0	0	
研修費	0	10,000	参加費@500×4人×5回 (地域子育て支援拠点事業等従事者研修会への参加費)
計	243,926	202,000	

◆ 概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・光熱水費・通信運搬費・広告料・手数料・使用料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。